

市政に対する一般質問

十二月議会では、八日（月）から十二日（金）の五日間にわたって、二十七人の議員が質問をしました。質疑の原稿は議員が作成をし、議員の責任で掲載しています。写真は、登壇して質問を行っているところです。



金融経済危機の中、中小企業を守れ！市民の生活を守れ！

公明党津山市議員 原 行則



質問 ↓ 経済危機の中、中小企業の金融対策である緊急保証制度がスタートしたが、対応はしっかりできているか。

答弁 ↓ 今年度のセーフティネット保証の認定件数は、七十二件で昨年同時期

の九倍であり、関係部署三名体制で保証認定を行っており、中小企業の資金繰りに万全を期している。また、この制度の説明をきめ細かに各企業に徹底して説明していく。

質問 ↓ 県の財政危機で、財政構造改革プランによる津山市への影響額はどのくらいか。

答弁 ↓ 約四千万円程度である。

質問 ↓ 景気悪化による本年度の市税の減収をどれくらい見込んでいるか。

答弁 ↓ 前年度対比で三から四億である。

質問 ↓ 中小企業・雇用を守り、そこで働く何万の市民の生活を守るべきだ。

「平成二十一年度予算編成・地域自治協議会（CASA）」

津山誠心会議 津本辰己



質問 ↓ 日常生活関連整備・福祉・教育環境整備の予算について、財政事情が厳しい時ほど、「行政の原点」ともいえるべき、事業の財源確保が必要と思うが、

どうか。
答弁 ↓ 住民生活に密着する分野へ特に配慮すべきとの議員ご指摘の点は十分に理解できる。従って、限られた財源の中でこうした関連予算に十分配慮し、予算編成作業を進めていきたい。

質問 ↓ 地域・行政・NPO・大学等の連携による「住民自治協議会モデル事業」の今後の対応は。

答弁 ↓ 十年先を見据えた地域の活性化を旨とし、現在、リーダー研修の準備をしており、併せて活動経費や事業費に対する財政支援・職員による人的支援の強化を検討してまいりたい。

グラスハウスの廃止やむなしか！起債残は約十四億円

政津クラブ 高橋 誠



質問 ↓ 県財政構造改革案で、譲渡条件、管理、修繕費用はどうか。総合武道館と公認五十mプール建設の市長の考えは。道路特定財源の継続での整備は。自主防災・防犯組織づくりはどうか。

答弁 ↓ 婦人青年の家は、無償譲渡を要望。グリーンヒルズ津山の公園全体の活用は今後協議。グラスハウスは、管理費が約一億九千万円、修繕費は約一億八百万円、市負担を考えると市が維持するのは不可能。起債は約十四億円の残と聞いている。武道館、公認プールの整備は理解している。まず活動・指導体制の整備を。河辺高野山西線は、測量同意が難航、引き続き努力する。津山駅周辺整備は、事業手法を「津山駅周辺整備事業」に統一する。広報啓発や出前講座を実施、現在五十二団体、九十四町内会の組織となっている。